# 比喩で広がる言葉の世界 (1)

森山卓郎

1 次の詩の情景を思い浮かべてみよう。

土　　三好達治

蟻が
蝶の羽をひいて行く
ああ
ヨットのようだ

2 この詩では、蟻にひかれていく蝶の羽が、ヨットにたとえられている。この表現によって、ゆらゆらと運ばれていく蝶の羽が、波に揺られながら進んでいくヨットの帆のイメージに重なる。題名の「土」も、広い海のように思えてくる。

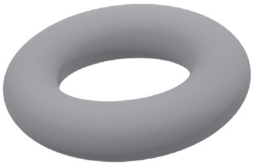
3 このように、ある事柄を、似たところのある別の事柄で表すことを、比喩という。「ヨットのようだ」のように、「まるで」「ようだ」「みたいだ」などを使って表すこともあるが、「あの人は歩く辞書だ」のように、それらの言葉を使わずに表現することもある。大切なことは、たとえるものと、たとえられるものとの間に共通点があり、それが広く共有されていることだ。蝶の羽は、ヨットの帆に形が似ている。だから、読者は瞬時に情景を思い描く。

（中略）

4……図のような形の部品をあなたならどのように説明するだろうか。真ん中に穴の空いた丸いドーナツを相手が知っているならば、一言で「ドーナツのような形」ということができる。しかし、もし比喩を使わないとしたら、言葉を尽くしても、伝えることは難しいのではないだろうか。このように、比喩には、形状をわかりやすく伝える効果がある。

5 また、比喩には、物事の特性をより生き生きと印象づける効果もある。例えば、「雷のような大声」という場合、声の大きさを響きわたる雷鳴にたとえているだけでなく、雷のもつ激烈さや迫力、おそろしさなどのイメージも重ねている。

（1～5は教科書本文における形式段落番号を表します）



図

**確認テスト** 本文を読んで、問いに答えなさい。

**(1)** 筆者は比喩をどのように定義しているか。解答欄に合うように、本文中から二十字以上、二十五字以内で探し、最初と最後の三字を答えなさい。ただし、句読点も字数に含む。

［　　　］〜［　　　］こと。

**(2)** 比喩の表現についての説明となるように、次の文の（　　）に入る言葉を本文中からそれぞれ三字以内で書きぬきなさい。

比喩を使うときには、たとえるものと、たとえられるものとの間に（①）があり、それが広く（②）されていることが大切である。

①［　　　］

②［　　　］

**(3)** 比喩にはどんな効果があるか。解答欄に合うように、①は十二字で、②は十八字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

①［　　　］〜［　　　］効果。

②［　　　］〜［　　　］効果。

**(4)** 本文の内容に合うものを選びなさい。

**ア** 比喩を生かすためには、「まるで」「ような」「みたいだ」などの言葉を使わなければならない。

**イ** 比喩を使うときには、たとえるものと、たとえられるものとの間に似たところがなければならない。

**ウ** 比喩で効果的な表現をするためには、比喩で表現されるものどうしの形が同一でなければならない。

［　　］